

# りゅうぎん まかせて新聞

2010 12月  
(平成22年)

◆ 第15号 ◆

発行／琉球銀行  
総合企画部地域貢献室  
〒900-0015 那覇市久茂地1-11-1  
(大代表)  
**TEL098 (866) 1212**  
ホームページ  
<http://www.ryugin.co.jp/>  
メールアドレス  
[ryugin@ryugin.co.jp](mailto:ryugin@ryugin.co.jp)

りゅうぎんの目指す将来像  
「問題解決型銀行」  
「問題解決型銀行」とは、文字通り地域、企業、個人のお客さまの問題や課題を発見し、解決していく、りゅうぎんの銀行像です。りゅうぎんは、問題解決型金融機能の強化を図り、多様なサービスを提供することにより地域、企業、お客さまとともに、持続的な成長を図ることを目指しております。

琉球銀行は、2010年11月9日、東京ビッグサイトにて、食の大商談会「地方銀行フードセレクション2010」を開催しました。



出展の記者会見を行う大城頭取とりゅうぎんビジネススクラブ会員企業の皆さま

## 食の大商談会 「地方銀行フードセレクション2010」を開催 お取引先の全国への販路拡大を支援!

「地方銀行フードセレクション」は、全国に販路拡大を求める各地域の食品関連企業と、地域色豊かで、安全でおいしい食材を求め食品バイヤーとの商談の場を提供する国内屈指の食



多くの来場者でにぎわう会場

0名のバイヤーが来場しました。県内からは、りゅうぎんビジネススクラブの会員企業20社が参加し、1,500件近い商談をこなしました。精力的な商談の結果、成約件数が12件、今後有望な成約見込件数が242件になるなど、出展企業にとって大きな成果が得られました。

「今後につながる商談ができた」「県外に出て初めてわかることがあった」「他の商談会に比べ前向きな話が多かった」「地方の埋もれた商品を探しに来て」と感じ、「本気のバイヤーが多かった」「来年もぜひ参加したい」など多くの声が寄せられ、満足度の非常に高い商談会となりました。

りゅうぎんビジネススクラブでは、今後とも各種商談会やセミナーなどの開催を通して、会員の皆さまの販路拡大や企業価値向上を支援してまいります。

同時に、地方銀行には、地域社会に根ざした良き企業市民としての社会的責任を果たすことが求められており、琉球銀行は教育・芸術・文化・スポーツ振興支援や福祉・環境保護活動などのほか、さまざまなボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

の商談会です。当日は、当行をはじめとする全国の地方銀行32行のお取引先約660社が出展し、約8,300名

は、「今後につながる商談ができた」「県外に出て初めてわかることがあった」「他の商談会に比べ前向きな話が多かった」「地方の埋もれた商品を探しに来て」と感じ、「本気のバイヤーが多かった」「来年もぜひ参加したい」など多くの声が寄せられ、満足度の非常に高い商談会となりました。

琉球銀行では、こうした情報を提供する新しい情報開示手段として「りゅうぎんまかせて新聞」を2003年12月より発行しており、今回の発行で15回目となりました。

また、金融機関と中小企業のリスクの共同管理やコストの共同負担という基本的方向性を踏まえながら、相互の信頼関係のもと、情報開示を一層推進し、借り手と貸し手の双方の健全性の確保を目指すことにあります。

2005年3月、金融庁は「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」を公表し、全国の地域金融機関は、2005、6年度の二年間に、地域密着型金融の一層の推進に取り組むことになりました。

「金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することに、顧客に関する情報を蓄積し、この情報をもとに貸出等の金融サービスの提供を行うことと展開するビジネスモデル」と定義されます。

### 琉球銀行の地域貢献についての考え方(基本スタンス)

琉球銀行は、地方銀行の基本的な使命は「地域の金融インフラを支える存在として、円滑な資金供給と金融サービスを提供することにある」と認識し、本業である銀行業務を通じた地域貢献こそが、地方銀行本来のあり方と考えています。こうした基本理念に基づき、琉球銀行は県民からお預かりした預金の大部分を県内の中小企業・個人の皆さまに供給し、県経済・社会の発展に貢献しています。

同時に、地方銀行には、地域社会に根ざした良き企業市民としての社会的責任を果たすことが求められており、琉球銀行は教育・芸術・文化・スポーツ振興支援や福祉・環境保護活動などのほか、さまざまなボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

りゅうぎんまかせて新聞  
第15号(2010年12月号)発行